

平成27年度 事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1 事業概要

平成27年3月策定の中期計画に基づき会員拡大及び各事業のための具体的取り組み等を行ってきたところであります。

デフレ脱却による賃金の引き上げ等景気回復傾向にあるとはいいうものの、当町の超高齢化を含め厳しいものがある現状かと思われます。

このような情勢の下、当センターの平成27年度契約金額は5年連続増額となり、30人の新規会員の入会者がありました。会員数は135名で、前年に比べ12名の増となり、契約金額は前年度の50,565千円から6,511千円の増の57,076千円（内訳：受託契約額50,646千円、一般労働者派遣事業賃金4,321千円、拠点手数料559千円、有料職業紹介事業賃金1,427千円、拠点手数料123千円）となりました。

契約金額が増額となった要因は、受託事業においては、一般事業所の継続的な契約が増え約1,300千円の増、これまで全く実績がなかった派遣事業において約4,900千円の増額によるものです。一般家庭においては、材料費で若干減額になるものの家事支援などの小さな受注は増えましたが契約金額はほぼ横ばいがありました。

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共同・共助」を目指し、さらに町民の多様なニーズに応えられるよう、会員、役職員一丸となって取組んでいきたいと考えております。

以下、平成27年度の主な事業について報告します。

2 就業機会提供事業

(1) 新入会員の促進

① 会員拡大推進員及び役職員、会員による口コミ作戦による入会を呼びかけました。

② 会員拡大を図るための啓発として、町広報誌「あさひ」に入会の要請を掲載、さらにパンフレットによる人材募集を2回行いました。内容を、具体的な職種と募集人数を掲載したところ、その月で13人が説明会に参加し、内9人が会員申請をされました。

③ 女性会員の集い

初の試みとして、昼食を交えながら、女性就業機会等の現状を話し、それぞれの意見・想いを話しながら情報交換を行いました。

(2) 独自事業の推進

① 買い物支援移動販売事業

事業開始 2 年目をむかえ、新たに老人福祉センターを加え、ケアハウス境・大平地区と笹川地区の 4 カ所を対象に週 1 回の移動販売を実施する。利用者はほぼ定着はしているものの、高齢者のため利用頻度が減少している場所が見受けられる。今後の検討課題でもあるが、事前に注文を受けることが多くなり多様なニーズに対応していきたいと思います。販売額は前年度比 40% 増の約 2,735 千円でした。

これまででは、お客さんから取扱い手数料をいただいておりませんでしたが、8 月より、2% をいただくこととなりました。

この事業は高齢者の就業確保を第一目標としており、移動販売員が地元の皆さんとも交流を図りながら、一人住まいの安否確認や刃物研ぎ、草むしりなどの受注拡大も行っています。

② 認知症カフェ事業

認知症の方と家族または不安がある方などへの支援を目的に「オレンジカフェほっとあいりす」を＜サロン＞において 6 月より月に 1 回開催しました。

町関係から指導員を派遣し、そのサポート役に当センター会員が補助員として就業しています。お茶やお菓子を楽しみながらの団らんや情報交換、レクレーションや健康体操、脳トレなどの活動、認知症に関する勉強会などを行いました。出席者は延 104 人でした。

③ 門松作り事業

地域文化の推進として 2 年目になります。

④ はつらつ健康サロン教室

フラダンス教室を毎月 2 回、計 14 回を当センターサロン＜アイリス＞にて開催し、延べ 164 人の参加者がありました。

⑤ 高齢者軽度生活援助事業

単身高齢者の家事援助事業を町と連携しながらスタートしました。

3 普及啓発事業

- ① 9 月 18 日に「シルバーの日」として公共施設「らくち～の」において施設周辺の美化奉仕活動を行いました。会員の約半数の 63 名が参加し、シルバーパワーを町民にアピールしました。
- ② あさひ夏まつりの 7 月 25 日・26 日にブースを出展し、当センターのアピールを行いました。

4 安全・適正就業活動

① 年1回の安全健康教室では、「おもいっきり笑う頭と身体の体操」を開催し、アゼリアホールとサロン＜アイリス＞において2日間開催しました。

② 講習会開催

草刈り班では安全適正就業講習会を2回開催し、1回目は班長を講師とし、2回目は県シルバー連合会に依頼し、机上及び現場にて開催しました。なお、安全衛生教育修了証取得者は18人となりました。

墓清掃班は7月下旬に安全及び清掃基準の講習会を開催しました。

③ 県シルバー連合会の抜打ちパトロールと就業現場の事故防止のために、委員によるパトロールを不定期に実施しました。一部の作業においてヘルメットが未着用であったため注意喚起をしました。その他の就業については良好でした。